

みずほCustomer Desk Report 2023/04/25 号 (As of 2023/04/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	134.14 AUD/USD
TKY 9:00AM	133.97	1.0992	147.14	1.2443	0.6690
SYD-NY High	134.72	1.1050	148.47	1.2486	0.6699
SYD-NY Low	133.89	1.0966	147.12	1.2414	0.6666
NY 5:00 PM	134.26	1.1046	148.30	1.2483	0.6696

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,875.40	66.44	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	12,037.20	▲ 35.25	日本10年債	0.4700%	0.0100%
S&P	4,137.04	3.52	米国2年債	4.1032%	▲0.0753%
日経平均	28,593.52	29.15	米国5年債	3.5750%	▲0.0845%
TOPIX	2,037.34	2.28	米国10年債	3.4949%	▲0.0722%
シカゴ日経先物	28,740.00	35.00	独10年債	2.4880%	0.0045%
ロンドンFT	7,912.20	▲ 1.93	英10年債	3.7790%	0.0260%
DAX	15,863.95	▲ 17.71	豪10年債	3.4650%	▲0.0100%
ハンセン指数	19,959.94	▲ 115.79	USDJPY 1M Vol	10.59%	0.11%
上海総合	3,275.41	▲ 25.84	USDJPY 3M Vol	10.55%	▲0.04%
NY金	1,999.80	9.30	USDJPY 6M Vol	10.60%	▲0.04%
WTI	78.76	0.89	USDJPY 1M 25RR	▲1.77%	Yen Call Over
CRB指数	272.61	1.81	EURJPY 3M Vol	10.22%	▲0.14%
ドルインデックス	101.35	▲ 0.47	EURJPY 6M Vol	10.51%	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は133.97レベルでオープン。オープン後はやや下押し圧力が強まり、133.90まで下落するも、仲値にかけて値を戻す。その後は前日に発表された米4月PMIの良好な結果を背景としたドル買い、植田総裁の発言で金融緩和継続のスタンスが示されたことを背景とした円売りにより、一時134.48まで上昇。ただ今週末にBOJを控えていることも影響したためか、流れが一服するとその後は上値重く推移し、134.27レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円はクロス円の上昇を背景に反発。ドル円は特段の材料がない中、134.27レベルでオープンし、米金利の低下につられて134.13まで売られる。その後、植田総裁の金融緩和継続に関する発言の影響か、全体的に円安となり134.70まで上昇し、結局134.66レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台前半でスタート。植田日銀総裁が今週後半に行われる日銀金融政策決定会合で現行の金融政策維持を示唆する発言が好感され、日米金利差を意識した円売りが先行。その後もクロス円の上昇につられ、じり高で推移し134.66レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月シカゴ連銀全米活動指数は予想程悪化しておらず、影響は限定的。しかし、続いて発表された米4月ダウ連銀製造業活動の結果が予想より大きく悪化する内容を受け、134.34まで下落、その後は134.40近辺でもみ合い。午後は米金利低下が重しとなり、134.30付近での推移が続き、次第に動意乏しくなり、134.26レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。独4月IFO企業景況感指数が予想を上回り、並びに欧州株式市場の堅調を受け、ユーロ買いが優勢となり、1.1020台まで上昇。その後は小幅反落し1.1003レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の結果を背景に上昇し、更にユーロ円が(148.47)まで上昇し、2014年以来の高値圏にタッチした事にもサポートされ、ユーロドルも1.1040付近まで急伸。午後午前中の流れを引き継ぎ、ドルが売られる中、再びじりじり上昇し、日中高値1.1050まで値を上げる。しかしその後は伸び悩み、反落し1.1047レベルでクローズ。

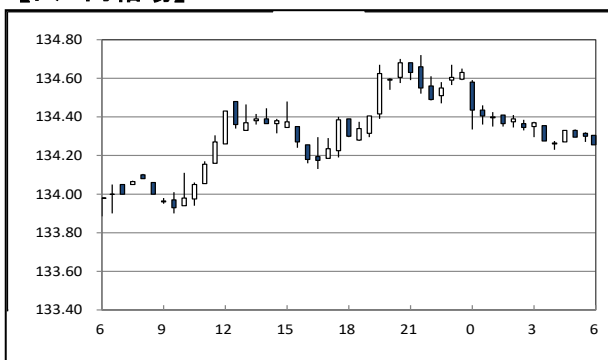
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月24日	17:00	独 IFO(企業景況感/現況/期待)指数	4月 93.6/95.0/92.2	93.4/96.0/91.1
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	3月 -0.19	-0.2

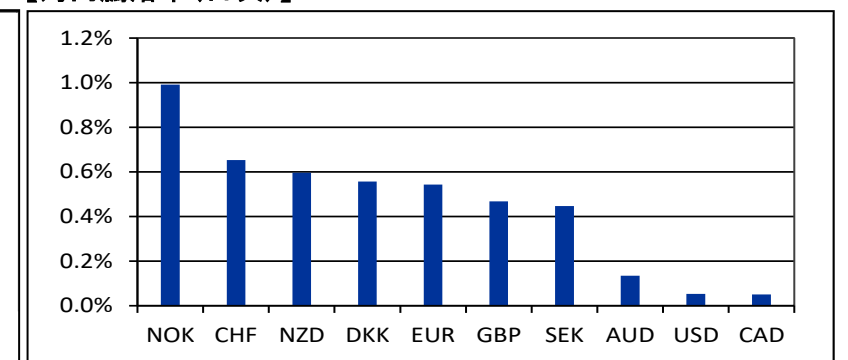
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月25日	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 632k	640k
	23:00	米 コンファレンス・ボード消費者信頼感	4月 104.0	104.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.70-134.70	1.0980-1.1100	147.50-148.50

【マーケット・インプレッション】

先日の海外市場でのドル/円は上方向に行って来いの展開となった。植田日銀総裁の金融緩和維持を示唆する発言を受けて、134円台前半から134円台後半に上昇する中、独IFO企業景況感指数が良好な結果となり、ECBメンバーのタカ派的発言もあって、ユーロ/円が続伸したことも追い風となり、134.72円まで上値を伸ばした。しかし、米経済指標の結果が強弱まちまちとなった為、米長期金利が低下、ドル/円も弱含み、134円台前半に戻して引けている。本日のドル/円は引き続き、133~134円台でのレンジ相場を予想する。今週は米ハイテク大手企業の決算発表が相次ぐことに加えて、今週末の日銀会合や来週のFOMC等を控えていることもあり、東京時間は方向感乏しい地合いとなりそうだ。一方、米国時間には4月の消費者信頼感、3月の米新築住宅販売等の注目指標の発表が予定されている為、海外時間の値動きに注意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・大橋